

令和元年度 京都老舗の会 パネルディスカッション

テーマ「伝統産業の新たな価値の発見-アート&クラフト分野での取組-」

— パネリストのご紹介 —

パネリスト

つばきのぼる

椿昇氏

現代美術家／京都造形芸術大学 教授



1953年京都府生まれ。京都市立芸術大学美術専攻科終了。2001年の横浜トリエンナーレで巨大なバットのバルーン《インセクト・ワールド-飛蝗(バッタ)》を発表。以後、巨大な玩具として主にバルーンを用い、現代社会の抱える危機的な状況への警告を内包する作品を製作。

また、長年にわたってアート教育にも携わり、京都造形芸術大学美術工芸学科の卒展をアートフェア化、内需マーケット育成のためにアルトテックを創設。

きむらひろみつ

木村博光氏

パナソニック アプライアンス社デザインセンター
ビューティークリーンデザイン部 部長



1970年兵庫県生まれ。多摩美術大学プロダクトデザイン専攻卒業後、松下電器産業（現パナソニック）に入社。1994年より、TV、ビデオ、カメラ、オーディオ等のAV機器のデザインを担当。2010年より、欧州拠点（ロンドン）に赴任し、デザインセンター全体の先行開発を推進。2018年には、欧州拠点での実績を活かし、AV機器全体のグローバルデザインディレクションを担う。

2019年4月に現職。ビューティーやメンズの理美容機器などのデザインディレクションを担うとともに、イノベーション価値創出に向け、デザインセンター全体の横断活動を牽引する。

コーディネーター

やました

あきまさ

山下晃正

京都府副知事

商工部長、企画理事兼商工労働観光部長、企画理事（緊急経済対策・未来戦略担当）を経て、平成25年から現職。